

私の名前は
安藤幸

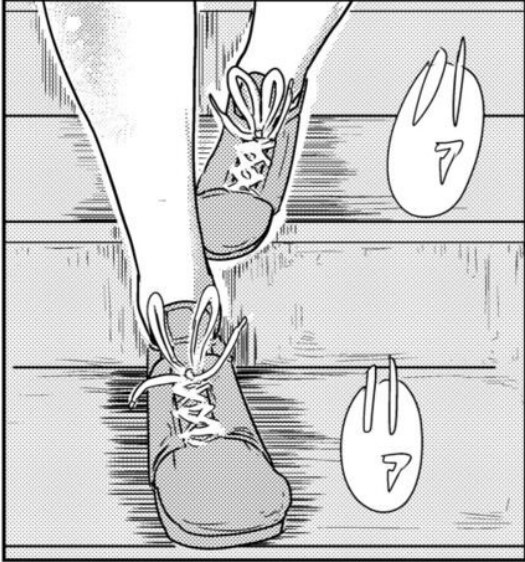
壁に隔離された
警察学校の
三年間で

同僚たちに女だと
自覚させられました



三年後

町外れの
廃墟ビル



ゴ
ル
ン

ゴ
ル
ン



鬼ごっこかっ

そんな恰好で
外に出るつもりか



光...っ

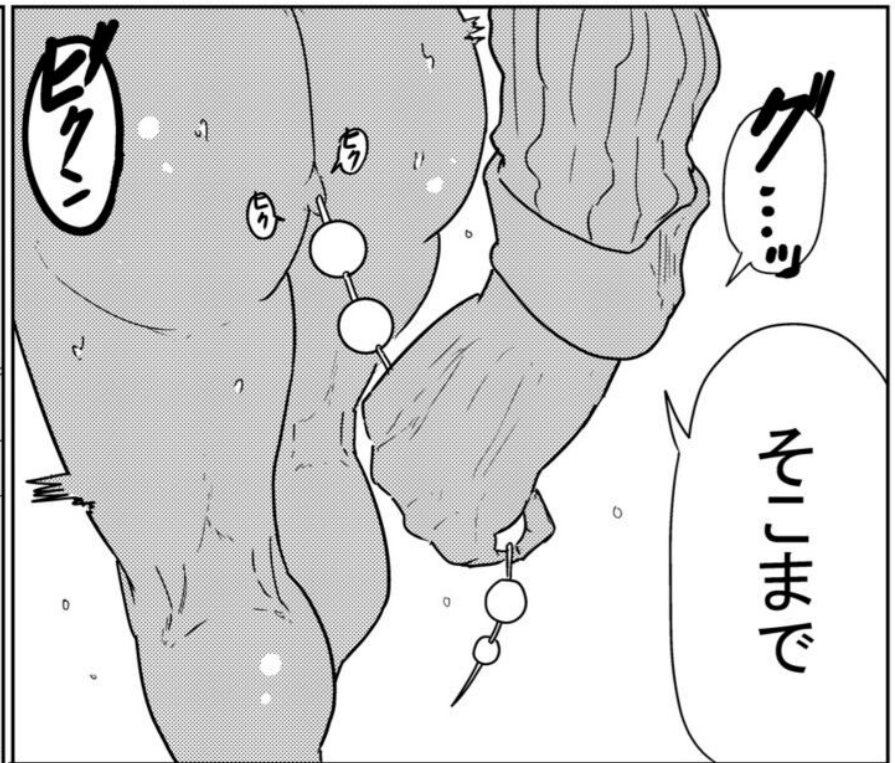


はい

やだよだっ



出口だ



グ...っ

そーじゃあ



どうして
こんな事に――



ザコ一本釣り

はい捕まえた

ゴクン

ゴクン

ガクン

ガクン

1990年代

私は安藤幸
雑用おまわりです

POLICE
KOBAN



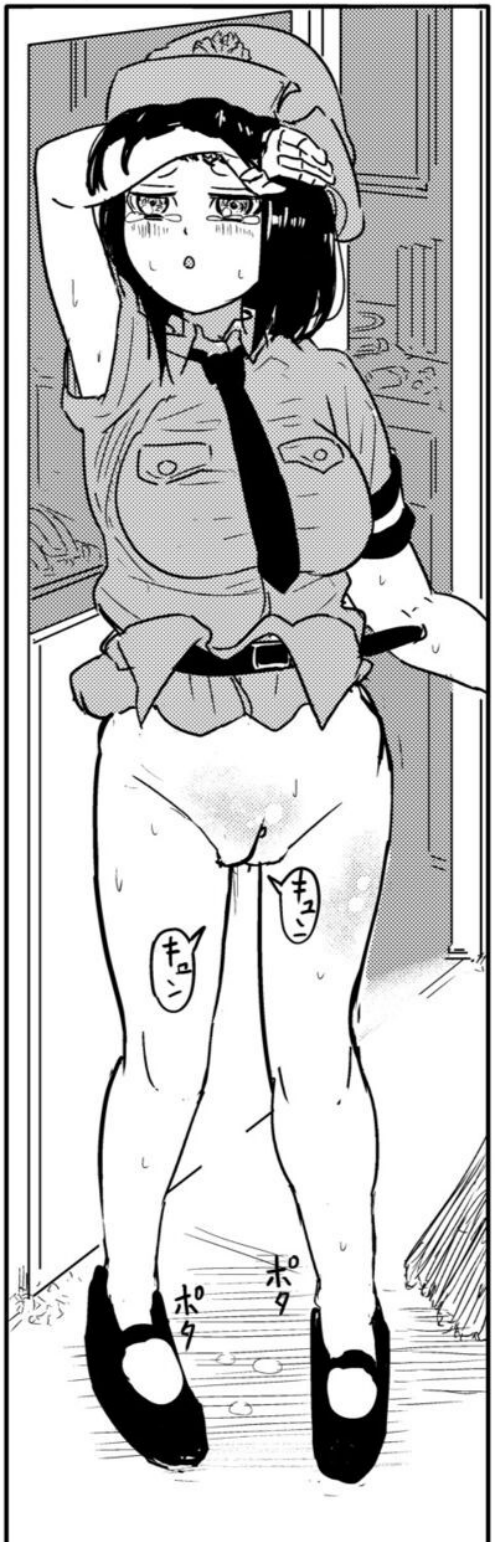
朝はいつも
スカートとパンツを
没収され

日課の出入口の掃除を
させられます



日ごとに増す
セクハラに私は
なにもできません

だって私が悪いの
だから...





ふあふあ...

脚閉じるな

クイッ

クッ

クッ



カタ

カタ

カタ

掃除後はブラウスも
取り上げられ
その後の業務は裸で
させられます



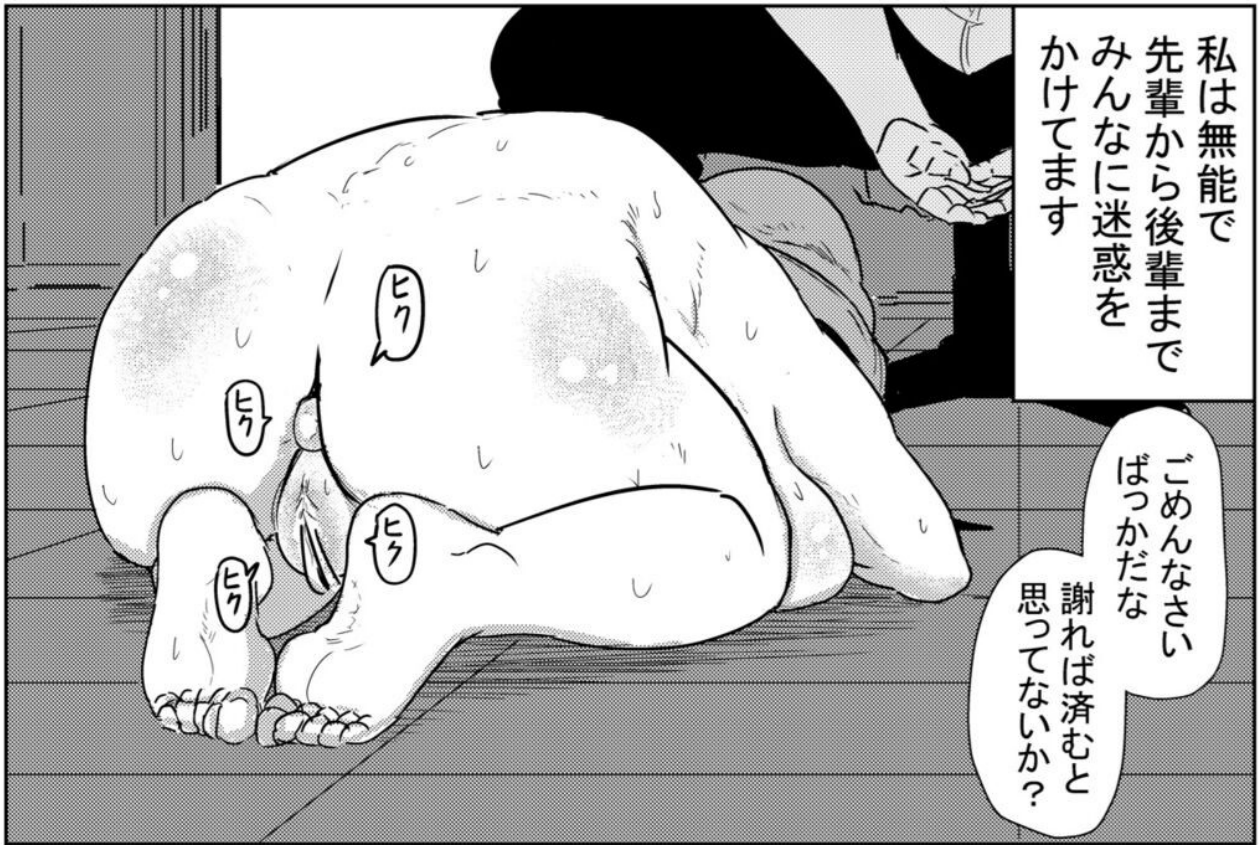
終わりました
確認お願いします

キョウ

キョウ

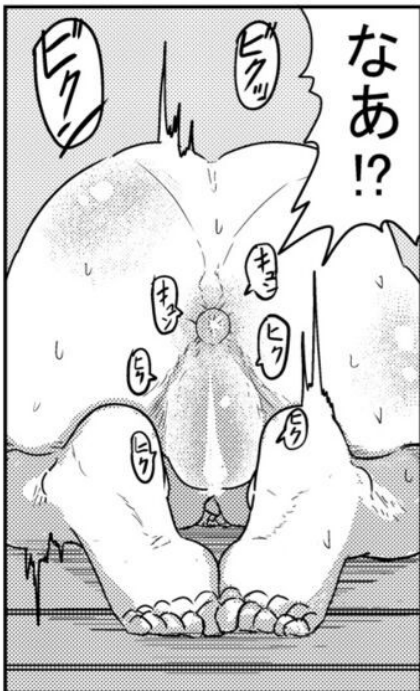
キョウ

キョウ



私は無能で
先輩から後輩まで
みんなに迷惑を
かけてます

ごめんなさい
ばっかだな
謝れば済むと
思ってたのか？



なあ!?

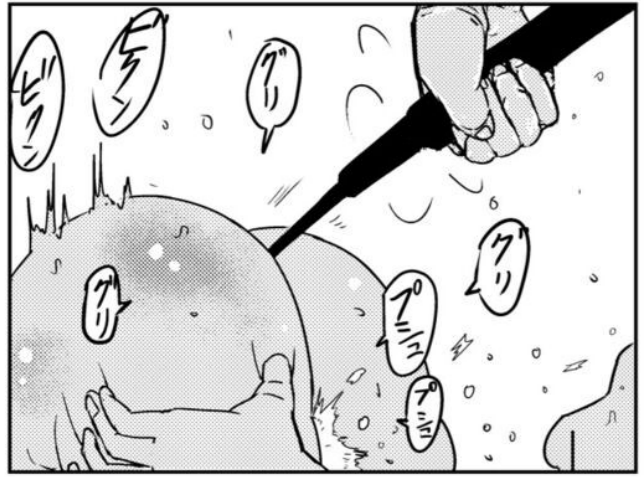


仕事ができない分
反省してもらおうか



現状は全て
私が招いた結果

お前のせいで俺達
まーた残業だよ
土下座ばっか
上手くなりやがって



結局バケツを
落とした私は
お仕置きに
勤務時間が終わるまで
おしりを乱暴にされました

途中から記憶は
曖昧だけどニジまで
いつも通り

ニジまでは……

まだ結構
中に残ってますね

今日もセクハラに耐え
帰り支度に移る所でした

おら身体も
拭いてやったし
漏れないように
栓もしてやった

ガバガバになっても
おかしくねえのに
穴としては優秀だな

おら
帰った帰った

服を…返して
貰っていいですか

悪いw
これお前の
ロッカーのカギだ

折れてしまって
もう取り出せん



ついにセクハラは
仕事外にも
及んだのです

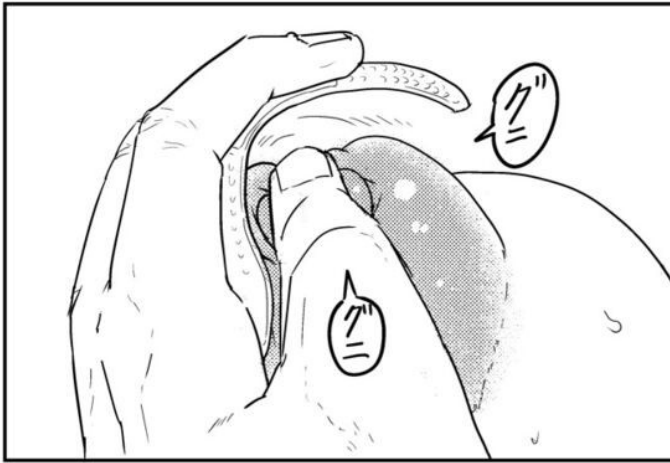
私の意見は
一つも通りません

悪いな幸W

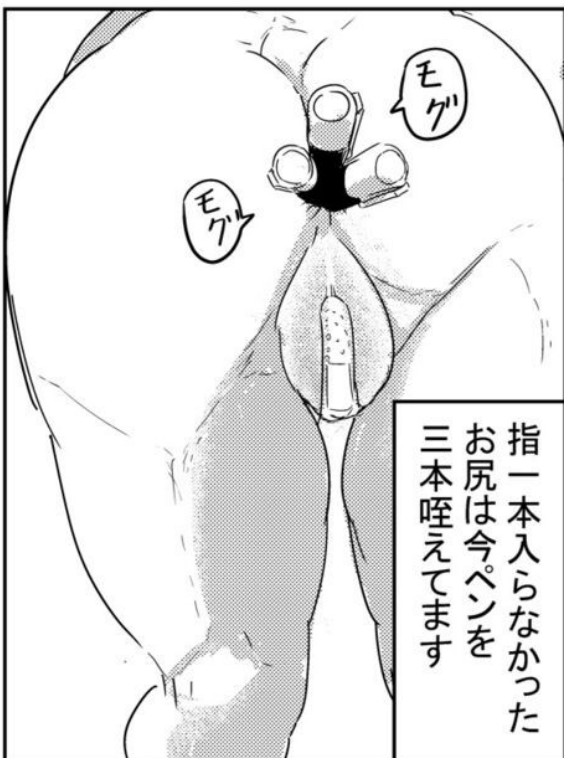
裸で帰すことになってW

田舎町だ
そうそう人には
見られないだろう

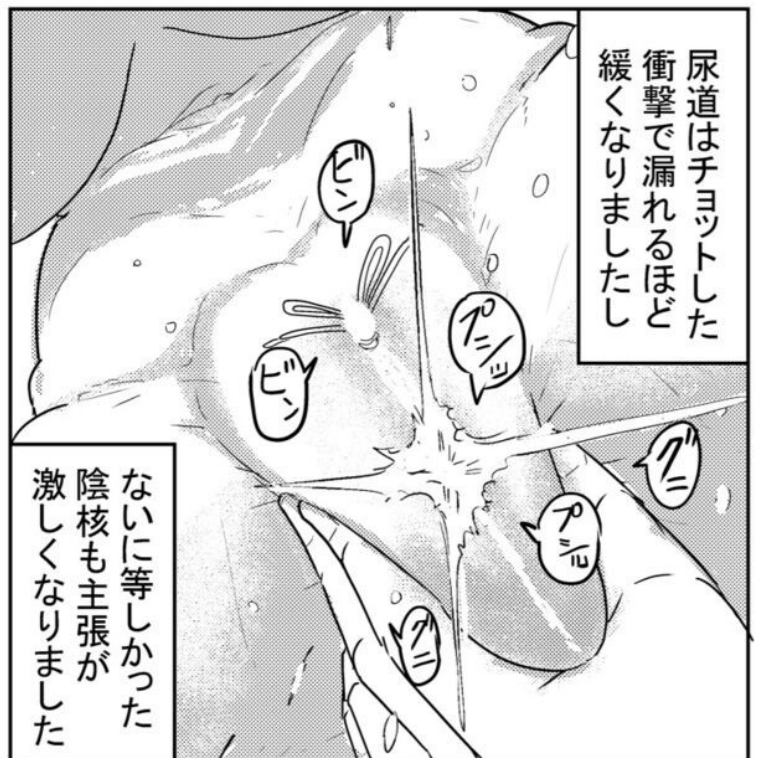




毎日おもちゃの
ように遊ばれ続けた
私の乳首は
いつの間にか
絆創膏でも覆えないほど
大きくなっていました



指一本入らなかった
お尻は今ペンを
三本啜えています



尿道はチヨットした
衝撃で漏れるほど
緩くなりましたし

ないに等しかった
陰核も主張が
激しくなりました

バカな私は
この時やっと
自覚しました

日常生活に
支障する程に

男の人を満足させる
為だけの身体に

雁字搦めに堕とされ
抜け出せない程に

私の身体は
壊されていた事を



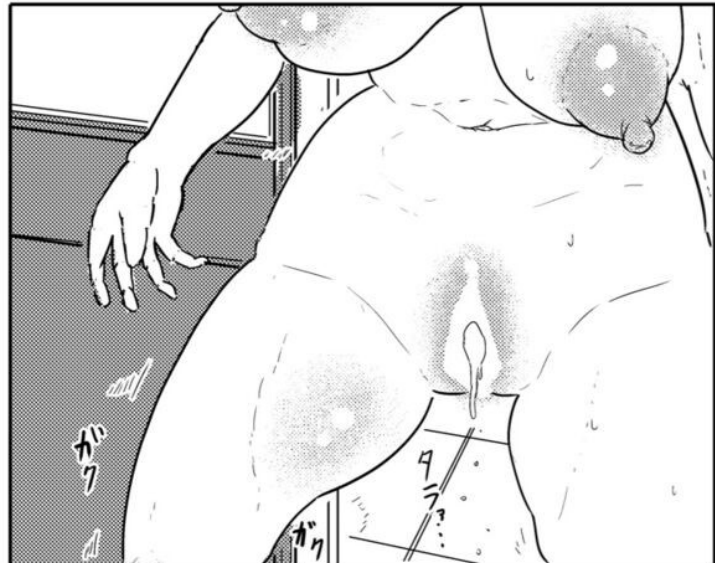




ふう...
抜いた抜いた

服着てきたら
殺すからなW

明日は
4時出勤だぞ

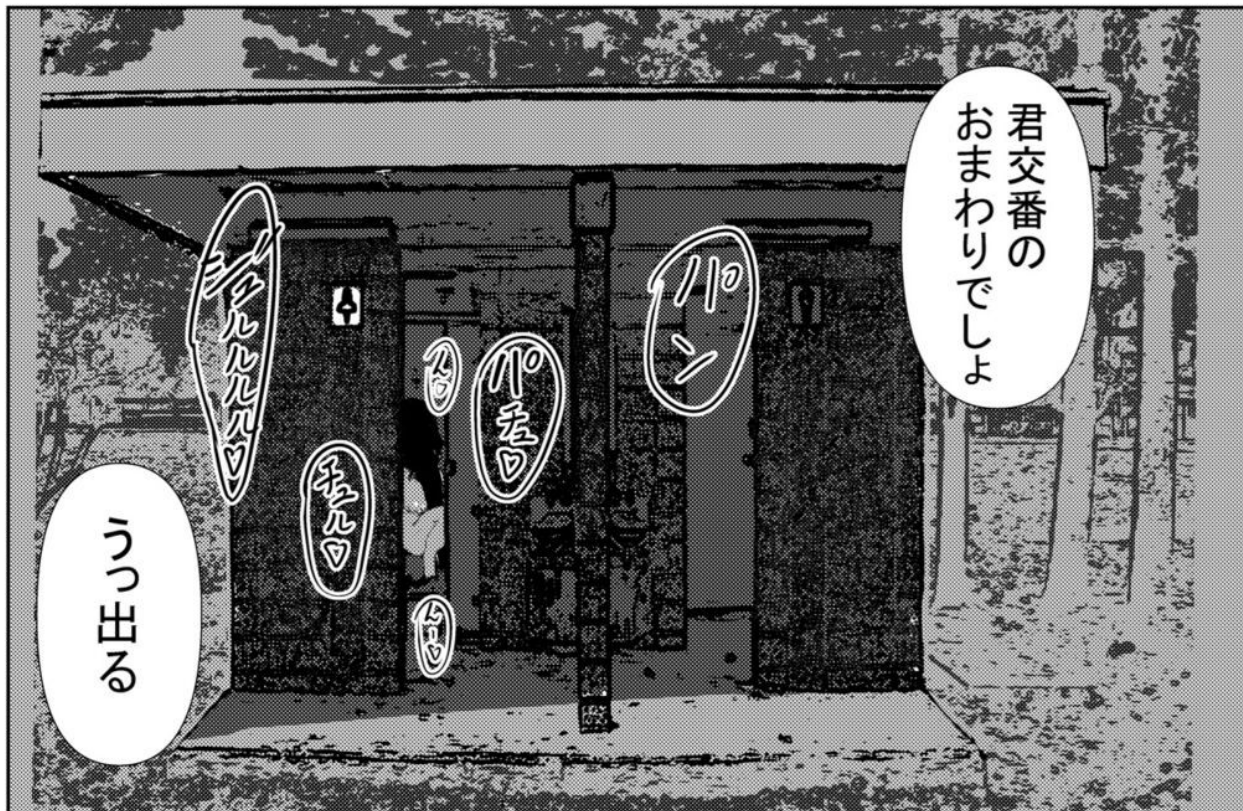


部長達が満足するまで
犯された私は
結局最後は全裸で
追い出されました

朦朧とする
意識の中

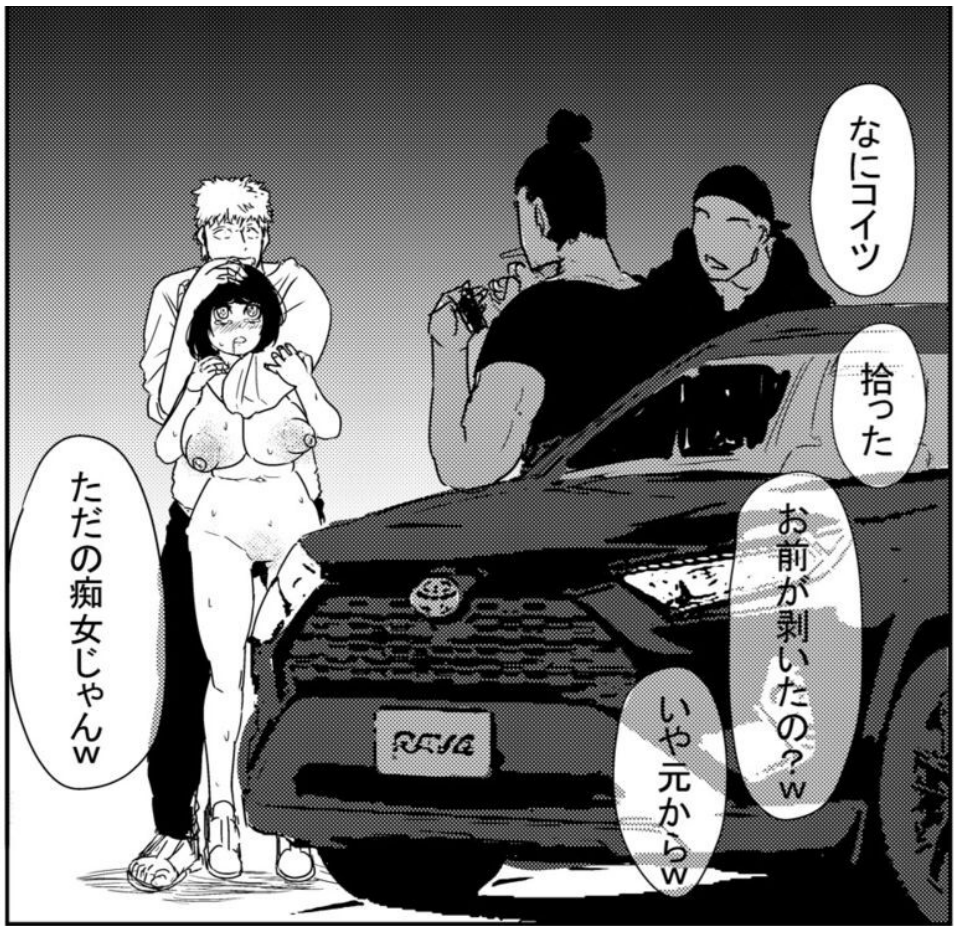
無為な絆創膏を
握りしめ帰路を
歩いていました

いつの間にか隣には
知らない
男の人がいました





この時警官なのに
拉致される自分に
みじめさを
感じてました



なにコイツ

捨った

お前が剥いたの？w

いや元からw

ただの痴女じゃんw



コイツ警官なん？w
なのにこんな
だらしない身体
してんのw

コイツ他のサツに
調教されて
やがんだよ

終わってんな
国もコイツも

救出されたのは
三日後でした